

令和

3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道)配・給水管等漏水修理事業	会計名称 予算科目	水道特別 1 款 1 項 2 目 事業番号 9907	担当課 所属長名	水道課 長岡崇
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)			担当責任者名	坪田考宣
法令根拠等	水道法			実施期間	【開始】令和／平成 18 年度 【終了】令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり				
総合計画における本事業の役割	潤いのある水環境づくりにおいて、限られた水源の中、上水道区域の安定した水道水の供給を図るため、配・給水管の漏水を早期発見または早急な修繕を行うことで、水資源の確保に努める。				
事業の対象	市民 (上水道の利用者)	事業の目的	上水道区域に清浄かつ安定的な給水を図るため。		
事業の内容 (整備内容)	漏水箇所を早期発見、修理することで、限りある水資源の有効利用と道路陥没等の二次災害の防止を図る。	昨年度の課題に対する具体的な改善策	修繕体制の確立について、事務効率化となる包括的委託についての検討は未実施となったが、個別水道業者では対応不可能であることから、伊予市管工事業水道組合への委託方式も含めて、今後検討を行う必要がある。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)							
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績		
直 接 事 業 費	8,194	11,997	0	0	0	11,997	漏水修理件数	件	231	250	65	274		
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0								
	県支出金	0	0	0	0	0								
	地 方 債	0	0	0	0	0								
	そ の 他	0	0	0	0	0								
	一 般 財 源	8,194	11,997	0	0	11,997								
職員の人工(にんく)数	0.54	0.37				0.37	修繕費	千円	8194	11997	3231	11997		
1人工当たりの入件費単価	7,812	7,841				7,841								
※ 直接事業費+入件費	12,412	14,898				14,898								
主な実施主体	直接実施	実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)												
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)							4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	5年間の合計		
成 果 指 標							10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000		
	指 標	緊急対応率(3日以内に漏水修理を完了した件数÷漏水発見件数×100)カッコ内は、1件当たり費用(単位:千円)					→	区分年度	前 年 度	3 年 度	4 年 度	目標 每 年 度		
	指標設定の考え方	緊急対応率により本事業の成果を把握することが可能なため。						目 標	100	100	100	100		
	指標で表せない効果							実 績	93(36)	75(35)				

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		市が委託する漏水調査業務や、市民からの情報提供などにより、漏水が発見された場合、早急な修理対応に努めており、引き続き早期発見と迅速な修理対応が必要となっている。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点	漏水の情報提供があれば早期に現地確認を行い、発生原因の特定と有効な修理方法を検討し、市民生活への影響を最小限にするよう早期の修理対応に努めている。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5			事業の苦労した点・課題	耐震化や老朽管の布設替えによる管の更新事業を実施しているが、老朽化した塩ビ管が多数残存し、漏水の主要な原因となっていることから、引き続き配水管用ポリエチレン管への布設替を実施するなど、漏水防止に向けた計画的・継続的な事業の実施が必要である。		
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	5			事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 上水道区域内に安定した水道水を供給するために必要な業務であるため、事業継続と判断する。		
		有効性	事業の効果	5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識			
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4						
	一次判定（所属長）	効率性	施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	4						
			手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	4						
		市民（受益者）負担の適正	市民（受益者）負担の適正	5 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 4 3 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 2 1 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4				漏水修理については、埋設位置、管種、管径等の的確な情報が必要である。これら情報を基に迅速な修理対応をおこなうことで、有収率の向上につながり、水道事業の経費削減にもつながる。修理体制の確立は重要であり、包括的な委託も視野に入れて検討する必要がある。		
			手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
		効率性	事業の効果	5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	4						
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	4						

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方向性	コメント欄
		<input type="checkbox"/> さらに重点化する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。
		<input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。
		<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。